

## 26年11月分

## 問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

## 1. 調査実施期間

平成26年 10月20日～ 26年11月10日

## 2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
11月分の回答企業数は47社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		26/11月	26/12月	27/1月
仕入動向	国産材	△ 19.5	△ 7.7	△ 10.5
	外材	△ 3.3	△ 12.2	△ 12.8
販売動向	国産材	△ 12.2	△ 11.3	△ 14.1
	外材	△ 2.2	△ 12.2	△ 19.3
在庫動向	国産材	△ 23.2	△ 13.8	△ 15.4
	外材	△ 20.0	△ 13.6	△ 12.8

・製材品の仕入は、国産材、外材共に3カ月連続して減少。

・製材品の販売は、国産材、外材共に3カ月連続して減少。

・製材品の在庫は、国産材、外材共に3カ月連続して減少。

## (2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	26/11月	26/12月	27/1月
スギ正角(グリーン)	△ 1.7	0.0	1.9
スギ正角(KD)	1.6	0.0	1.7
ヒノキ正角	△ 4.5	0.0	1.7
ヒノキ土台角	△ 4.8	△ 1.7	0.0
米ツガ正角(現地挽)	6.5	15.5	12.1
米ツガ防腐土台角	1.6	8.6	7.1
米ツガ割物(現地挽)	8.1	15.5	12.1
米マツ平角	3.4	12.5	11.1
北洋アカマツタルキ(現地挽)	△ 4.4	9.4	10.0
ホワイトウッド集成管柱	△ 7.4	6.3	9.7
レッドウッド集成平角	0.0	10.3	10.3
型枠合板(輸入)	35.0	23.2	11.1
針葉樹構造用合板	△ 5.2	5.6	3.8
針葉樹構造用合板(厚物)	△ 3.6	4.0	2.0

・スギ正角(グリーン、KDとも)ほぼ保合で推移。

・ヒノキ正角、土台角は11月のやや弱保合の後、12月、27年1月は保合に。

・米ツガ製材品及び米マツ平角は総じてやや強保合で推移。

・北洋アカマツタルキ、WW集成管柱及びRW集成平角は11月のやや弱保合ないし保合から12月、27年1月はやや強保合に。

・型枠合板は強含みないし強保合。

・針葉樹合板は11月のやや弱保合から12月、27年1月は総じて保合。

1. 荷動き

仕  
入  
れ  
動  
向

**東京**

**(米材問屋)**

・米マツ一般材丸太ではUS物10月積み輸出価格は据え置きの様様。カナダ物もセコグロ弱く、オールド高値と変化はないものの、大幅な円安から問屋の輸入コストは高い。北米白系丸太挽きアラスカスプルーンス丸太の新材も予想を超えた値上げとなった。

・一時の急激な円安が一服して産地からの仕入れもし易くなった。但し、米金融緩和の終息により内外金利差の拡大から、再び円安傾向が強まれば採算は一気に悪化すると思う。

**(外材問屋)**

・円安が進むと値上がりか。

**(集成材問屋)**

・為替の動向が気になる。本当なら値上だが、需要が落ち着いているので様子見。

・入荷少なく、ロシア材良材は特に少ない。欧州材も全体的に少なく、一部のサイズに欠品が出ている。米、カナダ材はツガ割物が少ない。

**(中国・南洋材問屋)**

・産地価格の上昇は止まったが、円安が加速し、仕入れ価格は依然として上昇。

・相変わらず、現地丸太不足。

・現地高、円安のダブルパンチで外材の仕入れが難航している。

**(広葉樹等問屋)**

・為替の影響大きく、仕入れのコストアップ。

**(国産材問屋)**

・荷動き悪く、仕入れ慎重になる。

・需要減による安値を嫌って、生産量増えてこない。売り込みも少ない。

・現場の物件は出ているが、一般ルートがさえない。

・原木高でも仕入れは上がりず。

**(仲買・小売)**

・アカマツタルキ 3m 物は、品不足と為替相場の影響か値上げを強く訴えられる。このままでは代替品も考えねばと思うが、その代替品も同じ条件になるのでは。

・決算のためやや減少。

・急激な円安の影響、また品不足のものは、注意深く見ていきたい。

・荷が全く動かない。10月末にかけて尻すぼみで、11月は荷が動く気配ない。

・年内は特に需要は増えそうにないので若干少なめの仕入れとなる。

・アカマツ、特に3mに良材なく、仕入れに気を使っている。

・仕事量少なく、在庫は増やせず、その都度必要量を仕入れする。

・10月に国産材を仕入れた分、在庫が残り当月はやや減少。

・11月に入り底打感が出ており在庫が残って来ている。来月くらいから仕入量が増すと思う。

**大阪**

**(仲買・小売)**

・小売、問屋共に超閑散、単価は横バイ。

・発注が動き鈍い。

**東海**

**(外材問屋)**

・荷動き悪く仕入れ横ばい、12月は来年1月のセールに向けて増加。

**(仲買・小売)**

・原木の出材が増える時期なので、相場が上がる見込み少ないため無理して仕入れる必要はない。

**東京****(米材問屋)**

- ・国内京浜マーケットの米マツ一般材丸太では製材品が集成材平角との価格競争が益々激化しており、米マツ製材の生き残りが難しい状況に追い込まれている。
- ・徹底した当用買いに、商いの規模が小さく、経費が賄えない。

**(外材問屋)**

- ・売れ行きが今一步で値上げは出来ない。
- ・先行きの仕事が見えてこないため荷動きは小口が中心、アカマツ良材 3m 材に引き合い多い。欧州材も欠品材の引き合い多い。米ツガも割物中心に引き合い多い。

**(集成材問屋)**

- ・10月は予想を上回る売上げ、今月は少し落ちると思うが、東北は仕事が出る。

**(中国・南洋材問屋)**

- ・秋需の実感は乏しく顧客の仕事は増えておらず見積もりばかり。
- ・10月は良かったが、今月から円安のコストアップで価格上げざるを得ないが？
- ・先月同様に、問屋での荷動きは活発。

**(広葉樹等問屋)**

- ・仕入れのコストアップの転嫁はすぐには進まない。

**(国産材問屋)**

- ・構造材の動きは特に悪い。
- ・良材動かず、上小節などの下級材が多い。
- ・スギ羽柄材に動き有り。

**(仲買・小売)**

- ・販売額が減少、低落傾向が加速している。
- ・9月、10月の予想を上回った売上げも11月、12月は少し落ち込み予想。
- ・10月はここ最近で一番良くなかった。11月に入り多少動きが出てきたが、続くかどうか。
- ・金融緩和というが全く景気良くなる兆しなし！
- ・7月～9月よりは良くなって来ている。
- ・構造材の動き悪い、羽柄材は良好。
- ・必要量を仕入れし、販売している。
- ・エゾタルキ・WWを中心に平均的に出る。
- ・前月に比べると仕事が出てきている。

**大阪****(仲買・小売)**

- ・新築物件他仕事が出そう、少しは忙しくなるかも。
- ・小売、問屋共に超閑散、単価は横バイ。
- ・小規模のリフォームになり、バタバタすれど売上げアップとはいかず、物流のケースや関連する材は荷動き活発。

**東海****(外材問屋)**

- ・円安によりどうなるか全く判らない。
- ・現在は販売不振、12月も引き続き販売は期待薄。1月はセールに期待。

**(仲買・小売)**

- ・今年中は忙しさ続く。
- ・一部で多忙なお客様もあるのが、全体的にはやや仕事量少ないため少なくとも横ばい、基本的やや増加を目指す。

**東京****(米材問屋)**

- ・京浜港での不良在庫は見られず、入、出荷のバランスはとれている。
- ・元々在庫が多い訳ではないので得意先からの発注を見て仕入れている。今後在庫を増やす考えはない。

**(外材問屋)**

- ・先高感が出てきたので少しは積み増動きもある。
- ・今後円安でコストの高い物が入荷してくるが、先の仕事が見えていないため在庫を持ってない状況。

**(集材材問屋)**

- ・少し落とす予定だが、急激な円安のためどうするか。

**(中国・南洋材問屋)**

- ・若干の入荷はあるが、出庫する商品は元々在庫の薄い物でバランス悪い。
- ・最低限の在庫、今年3月末より半減。
- ・円安前の安値の在庫は少なくなり、入荷が少ないことから今後は在庫が減っていくと思う。

**(仲買・小売)**

- ・需要見通しのあるアカマツタルキ 3m 物関係は単価にもよるが積極的に買い集めたい。
- ・急いで仕入れるものなく、通常通りだが、円安による影響は注意して行きたい。
- ・消費税 10%にしたらもっと荷が動かなくなるのでは。
- ・動きは良くないと思うので、国産材は減少するようになる。
- ・今までの仕入れの在庫分を出して行くので特に国産スギは少なくしていく。
- ・在庫は増えすぎないように横ばいで推移。

**大阪****(仲買・小売)**

- ・小売、問屋共に超閑散、単価は横バイ。

**東海****(外材問屋)**

- ・12月の在庫増はセール用。

**(仲買・小売)**

- ・増やす状況とは思えない。先行きの相場が上がらないと思う以上、不足材はないよう気をつけ一定の在庫は確保したい。

<p>スギ正角</p>	<p><b>東京</b>（国産材問屋）          ・価格は売りに行けば安いのが実態だが、安くても売れる訳ではなく横ばい。  <b>東京</b>（仲買・小売）          ・スギは確りしている。          ・保合。          ・スギ・ヒノキとも仕入れは少し弱い。          ・保合。          ・需要なし。          ・保合。          ・変化なし。  <b>東海</b>（仲買・小売）          ・円安で外材が上がる状況にあるが、需要不足で横ばい、スギは外材に影響されやすいが当面はこの状態が続くと思う。</p>
<p>ヒノキ正角土台角</p>	<p><b>東京</b>（仲買・小売）          ・落ち着いている。          ・保合。          ・120角は全く動かない。          ・保合。          ・需要なし。          ・保合。          ・保合ないし弱保合。  <b>東海</b>（外材問屋）          ・やや安価なものも出回っているが全体には横ばい。  <b>東海</b>（仲買・小売）          ・正角は、原木が上がる見込み少ないし、これ以上下がることもないと思うので、この状況が続くと予想。この土台状況が一番安くなっている。一番急騰したため市場からの需要が激減、安値状況継続している。</p>
<p>米ツガ</p>	<p><b>東京</b>（外材問屋）          ・正角（現地挽）は今後の入荷は大幅なコスト高の物となるが、荷動き悪く値上げは小幅となる見込み。防腐土台角は原料の値上がりから値上げとなるが荷動き悪くしばらくは様子見となる見込み。割物（現地引）は入荷少なくコストも大幅上げから小幅ではあるが値上がりとなっている。  <b>東京</b>（仲買・小売）          ・保合。          ・金融緩和で円安となり、輸入材は値上がりするのが常だが、これだけ荷動きがないのに値上がり出来るだろうか。          ・円安で若干強くなる。          ・鉄筋の間仕切り材として3m角程度が出るだけ。          ・保合。          ・円安動向から強保合。  <b>大阪</b>（仲買・小売）          ・荷動きが鈍い分、値が上がる様子なし。  <b>東海</b>（外材問屋）          ・ツガ不足している。          ・現状は横ばいも為替の影響で上昇するかも？</p>
<p>米マツ平角</p>	<p><b>東京</b>（外材問屋）          ・今のところ変化なしだが為替次第で上昇か。          ・現在値動き悪く、すぐに値上げはないが、コストアップから年末から来春には値上げとなる見込み。  <b>東京</b>（仲買・小売）          ・保合。          ・円安と荷動きの悪さを考えると次月以降の価格がどうなるか予想がつかない。          ・保合。          ・保合。          ・保合。  <b>大阪</b>（仲買・小売）          ・円安で早くも問屋筋より値上げの話あり、合板は円安で値上がりそう。  <b>東海</b>（外材問屋）          ・現状は横ばいも為替の影響で上昇するかも？</p>

北洋ア カマツ タルキ	<p><b>東京</b>（外材問屋）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・円安で今後現地価格が下がらない限り、大幅なコストアップになるが、現在はまだ従来の価格の物が入荷。良材不足はあるが相場は強保合。</li> </ul> <p><b>東京</b>（仲買・小売）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保合。</li> <li>・円安と荷動きの悪さを考えると次月以降の価格がどうなるか予想がつかない。</li> <li>・需要少なく上げまでに至らない。</li> <li>・良材がない。</li> <li>・少し下げかも。</li> <li>・動きが悪く弱保合。</li> </ul> <p><b>東海</b>（外材問屋）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・変わらず。</li> </ul>
WW・RW集 成材	<p><b>東京</b>（外材問屋）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集成平角は材が減少してくれば値上がり必至。</li> <li>・現在荷動き悪く、弱保合であるが、今後円安で保合から強保合になる可能性あり。</li> </ul> <p><b>東京</b>（集成材問屋）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急激な円安でどうなるか心配。</li> </ul> <p><b>東京</b>（仲買・小売）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WWは保合。</li> <li>・需要は依然として増えそうにないので、為替の影響はあまり受けない。</li> <li>・WWは少しずつ下落か。</li> <li>・保合。</li> </ul> <p><b>東海</b>（外材問屋）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WWは現在@/本 1,850 円で変わらず。そろそろ値上げか？（年明けぐらいか？）。RWは@/m3 58,000 円柱と同じくそろそろ値上げか？</li> </ul>
合板	<p><b>東京</b>（仲買・小売）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸入価格は上がっている様だが、実需が弱いので型枠を除くラワン合板の値上げが今いち浸透していない。</li> <li>・12mm 関係、ラワンと針葉樹の駆け引きに注目。</li> <li>・全体的に上がっている。</li> <li>・型枠合板は円安で強含みとなるのでは。</li> <li>・輸入が強く、針葉樹は弱い。</li> <li>・コンパネだけ上がって来ている。</li> <li>・型枠用合板を中心に強保合、少しずつ上がっている。30 円から 50 円/枚の上げ。</li> <li>・円安から強保合。</li> </ul> <p><b>大阪</b>（仲買・小売）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラワン材上昇傾向。</li> <li>・商品は安定的に入ってくるが、価格が上昇している。</li> </ul> <p><b>東海</b>（仲買・小売）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・円安の影響で合板類は値上げしてきている。</li> </ul> <p><b>東海</b>（外材問屋）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・針葉樹合板 12mm は下落 @/枚 880 円、針葉樹合板（厚物）28mm は@/枚 2,150 円</li> </ul>